



CERISE / 完全版マニュアル PDF

ユーザーガイド

日本語・2026-02-12

<https://www.ftsled.fr/ja/%E3%83%A6%E3%83%BC%E3%82%B6%E3%83%BC%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89/>

マニュアルを探す

はじめに

- iPadでCeriseを使用する
- コンソールでCeriseを使用する
- Wired DMXアダプターを使用する

製品仕様とレイアウト

デバイスの更新方法

デバイスを工場出荷時設定にリセットする方法

ユーザーインターフェース / 設定

- 設定
- コンソール

設定方法

- Blackoutライティングコンソール
- Luminairアプリ

トラブルシューティングの手順

- Ceriseを接続しても何も表示されない
- Blackoutから何も出力されない。Ceriseは正しく検出され、ネットワークインターフェースとして表示され、WebUIにもアクセスできるが、Blackoutからデータが出力されない。
- シアンLED/USB/イーサネットリンクは点灯していますが、WebUIがウェブブラウザで読み込めません
- iPadのバッテリーが100%に達すると、Ceriseが動作を停止したり不安定になったりします
- iPadがスリープ状態になるとデータ通信が失われる、またはiPadがロックされている状態でCeriseを接続しても何も反応がありません。

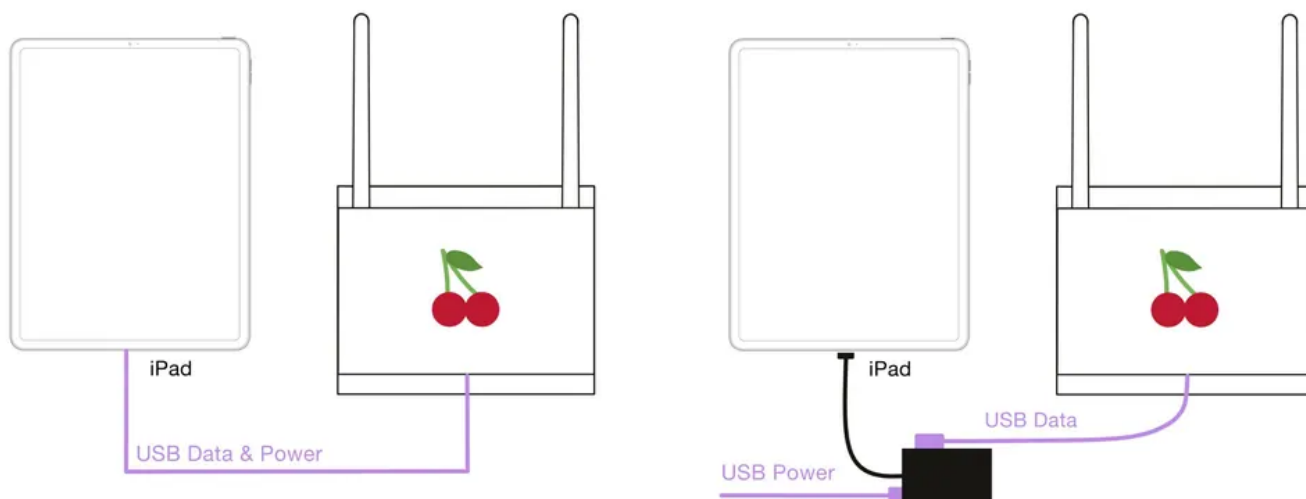
よくある質問

- Lightningコネクタ搭載のiPadでCeriseは使用できますか？
- Ceriseはどのデバイスで動作しますか？
- iPadでCeriseを検出できません
- IPアドレスを変更しましたが、接続できなくなりました
- CeriseでCRM Toolboxを使用できますか？
- CeriseにCRM Linking Keyがありません

FCC注意事項

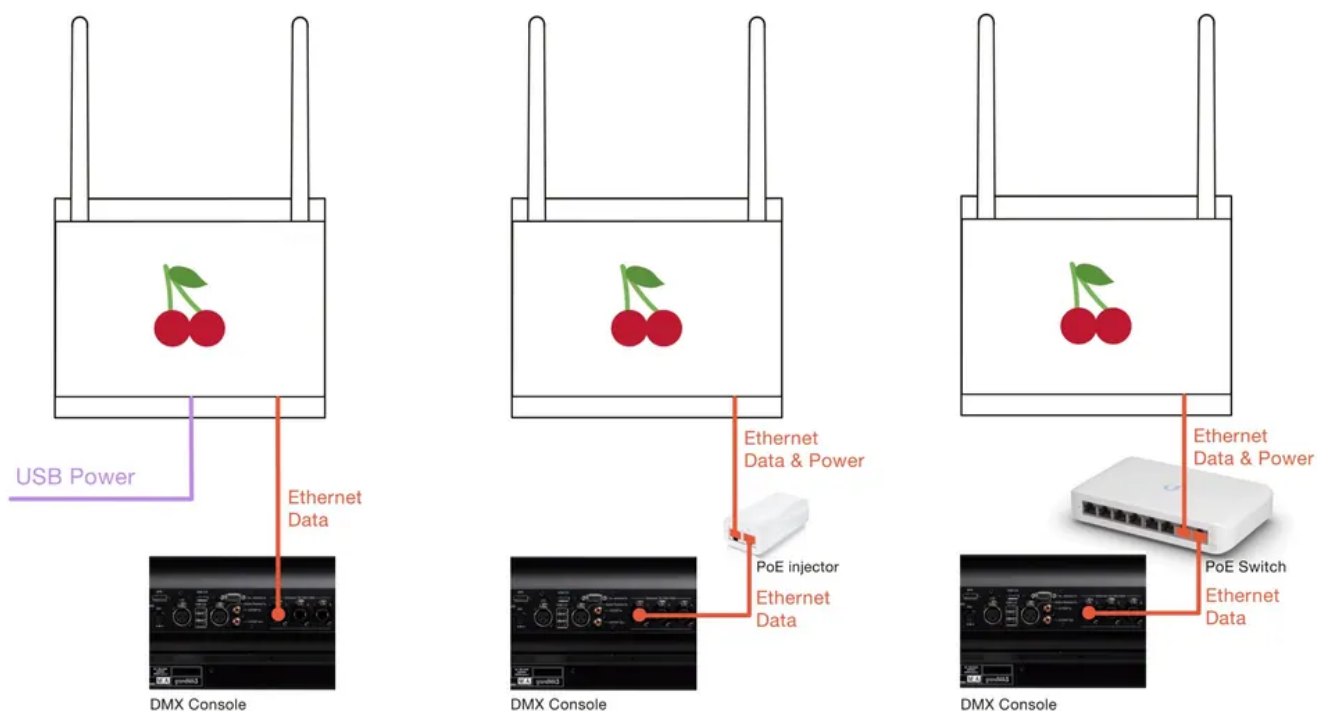
はじめに

iPadでCeriseを使用する



Ceriseは、iPadまたは接続する任意のコンピューターから直接給電できます。オプションで、付属のスプリッターを使用してiPadの充電とCeriseの使用を同時に行うことも可能です。

コンソールでCeriseを使用する



CeriseはDMXコンソールとも問題なく連携します。外部電源で給電していることをご確認ください。

Wired DMXアダプターを使用する



Wired DMXブレイクアウトボックスは、4ユニバースのDMX信号を受け取り、4つの個別のXLR 5ピンコネクタに分岐するパッシブアダプターです。「DMX Out」ポートに接続した場合のみ動作します。

省スペースのためEthernetと同じRJ45コネクタを使用していますが、DMXへの変換はCerise本体内部で行われます。

アダプターにはSSNAKEとStairvilleの2つのバリエーションがあり、唯一の違いはStairvilleが適切に機能するために付属の小型アダプターを必要とすることです。

RJ45 DMX出力のピン配置

RJ45ピン	ESTAピン配列 / XLRピン配列	Thomann Cat Snakeピン配列 / XLRピン配列
1	U1 データ+ / ピン 3	U1 データ+ / 3 / A
2	U1 データ- / ピン 2	U1 データ- / 2 / B
3		U2 データ+
4		U3 データ-
5		U3 データ+

RJ45ピン	ESTAピン配列 / XLRピン配列	Thomann Cat Snakeピン配列 / XLRピン配列
6		U2 データ-
7	GND	U4 データ+
8	GND	U4 データ-

製品仕様とレイアウト

詳細な製品仕様表

モデル	1U	2U Pro	2U Pro 有線	4U Pro	4U Pro
CRMXユニバース	1	2	2	4	4
USB Type-Cコネクタ	✓	✓	✓	✓	✓
イーサネット	✗	✓	✓	✓	✓
RFスペクトラムアナライザー	✗	✓	✓	✓	✓
Power over Ethernet (PoE)	✗	✓	✓	✓	✓
Wired DMXユニバース出力	✗	✗	2つ目のRJ45コネクタを介した4つの絶縁入力/出力	✗	2つ目のRJ45コネクタを介した4つの絶縁入力/出力
CRMX Linking Key	✓	✓	✓	✓	✓
USB消費電力	5V 0.3A	5V 0.4A	5V 1A	5V 1A	5V 1.5A
DMXユニバース合計	1	2	6	4	8

USB :

最大消費電力：最大5V 3A（通常0.5-1A）

USBリビジョン互換性：USB 1.1

USB経由のネットワーク速度：10mbps

イーサネット：

リンク速度：10/100

Auto MDI-X 非対応

Power over Ethernet (PoE) 互換性

IEEE802.3af準拠

入力電圧範囲：36V～57V

モードA & B

UI：

1つのステータスLED / ブートボタン

ユニバースごとに1つのユニバースカラーLED / リンクボタン

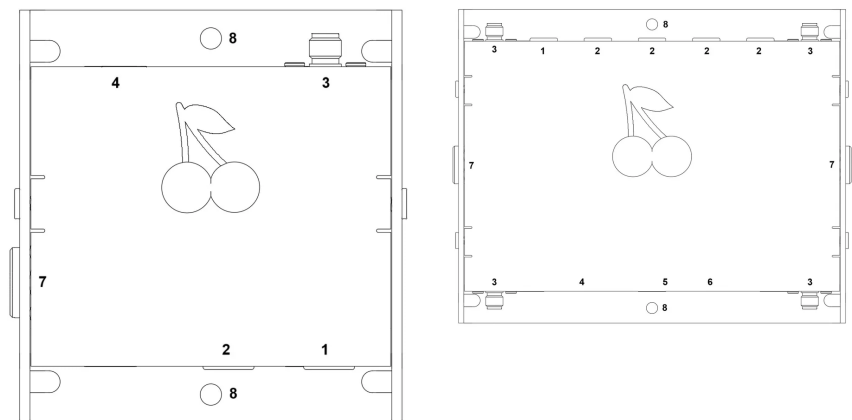
DMX：

出力周波数：41Hz

マージタイプ：LTP（Latest Takes Priority）1.8.x以降でさらに多くのモードをサポート予定

対応ネットワークプロトコル：Art-Net & sACN同時対応

1. BOOTボタン / ステータスLED
 1. 緑 = 電源オン
 2. シアン = USBリンク確立
2. CRMXリンクボタン
 1. 点滅 = 信号待機中
 2. 点灯 = データ送信中
3. RP-SMAアンテナコネクタ
4. USB Type-Cコネクタ
5. イーサネット 10/100 RJ45 PoEコネクタ
6. Wired DMX出力
7. 1/4インチネジ取り付けポイント
8. M4取り付け穴（4.2mm）



デバイスの更新方法

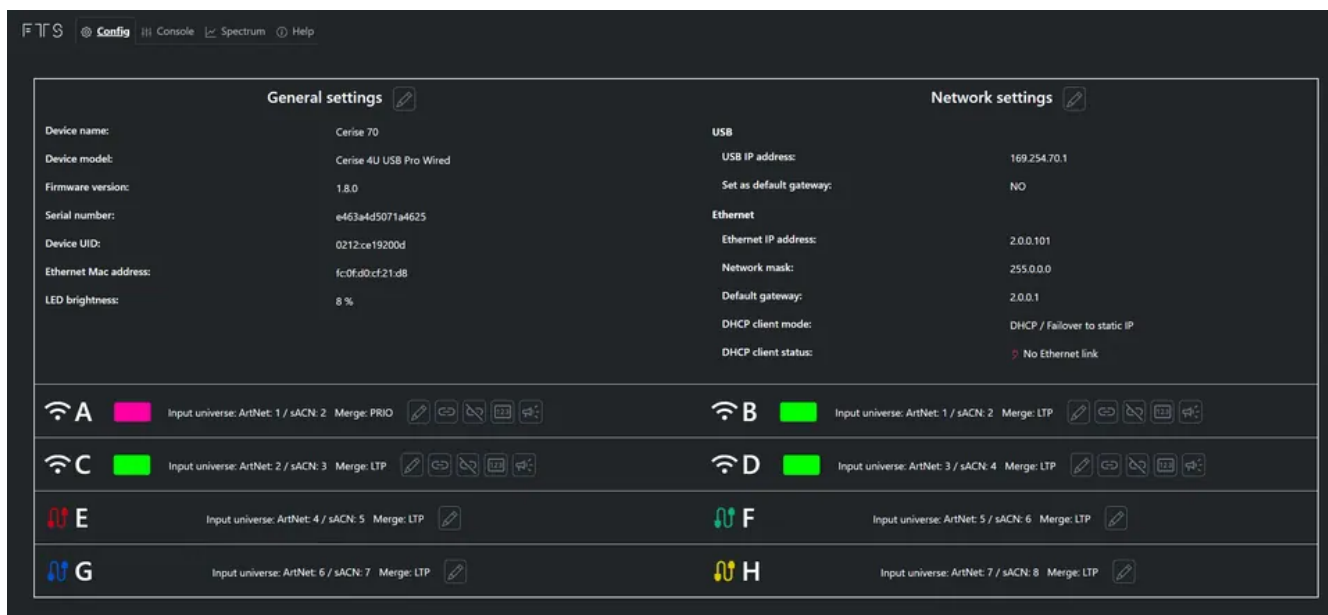
1. 最新のファームウェアをこちらからダウンロードして解凍してください：[ダウンロード](#)
2. Ceriseトランスミッターを手に取り、 を押し続けます。 1. BOOT button
3. ボタンを押したまま、USB Type-Cケーブルでトランスミッターをコンピューターに接続します。
4. RPI-RP2という新しいマスストレージデバイスが表示されるので、CeriseFirmwareXXX.uf2ファイルをドラッグ&ドロップします。
5. 転送が完了するまで待ってから、ユニットの電源を入れ直してください。

デバイスを工場出荷時設定にリセットする方法

1.6.4以降では、1. BOOT buttonを10秒間押し続け、紫色に変わったら短く一度押すことで、デバイスを簡単にリセットできます。

ユーザーインターフェース / 設定

設定



CeriseはWebUIから完全に操作できます。アクセスするには、Webブラウザに対応するIPアドレスを入力してください。デフォルトのIPアドレスは、USB経由で接続されている場合は169.254.XX.1、イーサネット経由で接続されている場合は2.00.101です（これらのIPアドレスはWebUIで変更可能です）。デバイスのUSB IPアドレスは、デバイスの背面にあるステッカーを確認するか、iPadの「設定」>「イーサネット」>「Cerise」（例：Cerise 2UPW 169.254.46.1）で確認できます。

iPadでCeriseを使用する場合は、設定をデフォルトのままにすることをお勧めします。すべてのデフォルトパラメーターはテスト済みであり、ほとんどのアプリでそのまま動作します。

💡 ヒント：LEDの明るさを0%に設定すると、ステータスLEDを無効にできます。

💡 情報：1.8.x以降、デフォルトIPが169.254.xx.1から10.206.xx.1に変更されます。アップデート時にデバイスを工場出荷時設定にリセットする必要がある場合があります。（例：169.254.46.1は10.206.46.1になります）

USB IPアドレスの変更

CeriseのデフォルトUSB IPアドレスを変更するには、USB IP addressフィールドを変更し、デバイスの電源を入れ直してください。

💡 ヒント：イーサネット関連の設定（アドレス、ネットワークマスク、デフォルトゲートウェイなど）を変更する必要はありません。

イーサネットIPアドレスの変更

CeriseのデフォルトイーサネットIPアドレスを変更するには、Ethernet IP address、および対応するNetwork maskとDefault Gatewayフィールドを変更し、デバイスの電源を入れ直してください。

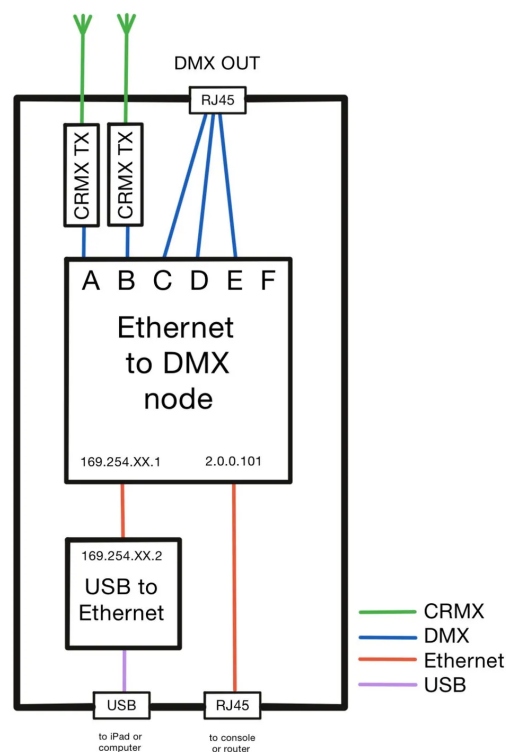
💡 注意：デバイスのUSB IPアドレスは常に最後の桁が増加します。トランスミッターのUSB IPが169.254.46.1の場合、デバイス（iPad、コンピューターなど）は169.254.46.2のアドレスを持ちます。Safariなどの一部のブラウザは2.x.x.xのIPアドレスで問題が発生するため、Google Chromeの使用をお勧めします。工場出荷時のIPから変更してWebページにアクセスできない場合は、Wi-Fi設定を無効にしていることを確認してください。競合する可能性があります。それでもアクセスできない場合は、デバイスを工場出荷時設定にリセットすることを確認してください。

USBデフォルトゲートウェイ（USBのみ）

Setting the USB default gateway はその名の通り、USBインターフェースのゲートウェイを設定します。残念ながら、デバイスがWi-Fiまたは有線接続でルーター経由でインターネットに接続されている場合、これもゲートウェイとして機能し、競合を引き起こします。トランスミッター使用中にインターネットを必要としない場合（つまり、セット専用のiPadがある場合）で、USB経由でArt-Net BroadcastまたはsACNプロトコルを使用したい場合は、この機能を有効にすることをお勧めします。

💡 バージョン1.6.x以降では、「USBデフォルトゲートウェイ設定」オプションはデフォルトで無効になっています。

機能ネットワーク図



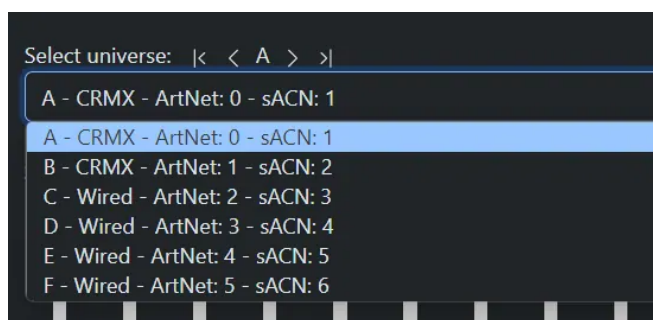
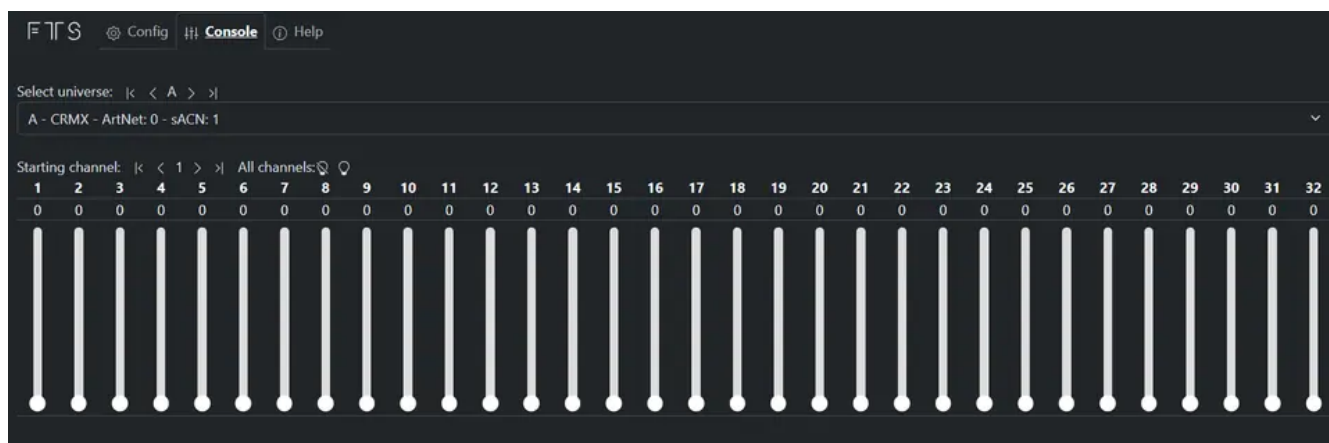
Ceriseは他のUSB-イーサネットアダプターと同様に機能し、ドライバーをインストールすることなくほとんどのプラットフォームでサポートされます。

仮想ネットワークカードとDMXノード間に専用ネットワークを独自に作成し、デフォルトIPは次から始まります：169.254.XX.X

DMXノードは製品バージョンにより、出力数が1（1U USB）から8（4U PRO WIRED）まで異なります。

イーサネットアダプターでCeriseを使用している場合、WebUIのIPアドレスはUSBとは異なり、デフォルトではです。 2.0.0.101

コンソール



Select universe を使用すると、AからFまでの出力を選択でき、ドロップダウンで現在表示しているユニバースが有線か無線かを簡単に確認できます。

コンソールは基本的なフェーダーボードとして使用できます。Art-NetまたはsACN経由でネットワークデータが入力されている場合、それが表示され、フェーダーは操作不能になります。

設定方法

💡 デバイスがまだ169.254.xx.1のIPアドレスを持っており、iOSで使いたい場合は、169.254.xx.1のIP範囲がiOSで競合を引き起こす可能性があることが判明しているため、デフォルトのIPアドレスを変更することを強くお勧めします。xxのユニークな番号を同じに保ちながら、10.206.xx.1に切り替えることをお勧めします。これにより、Blackout Lighting Consoleで_リンクステータス_がオフラインのままになったり、Ceriseを使用するためにWi-Fiをオフにする必要があったりする問題が解決されます。（例：169.254.46.1は10.206.46.1になります）

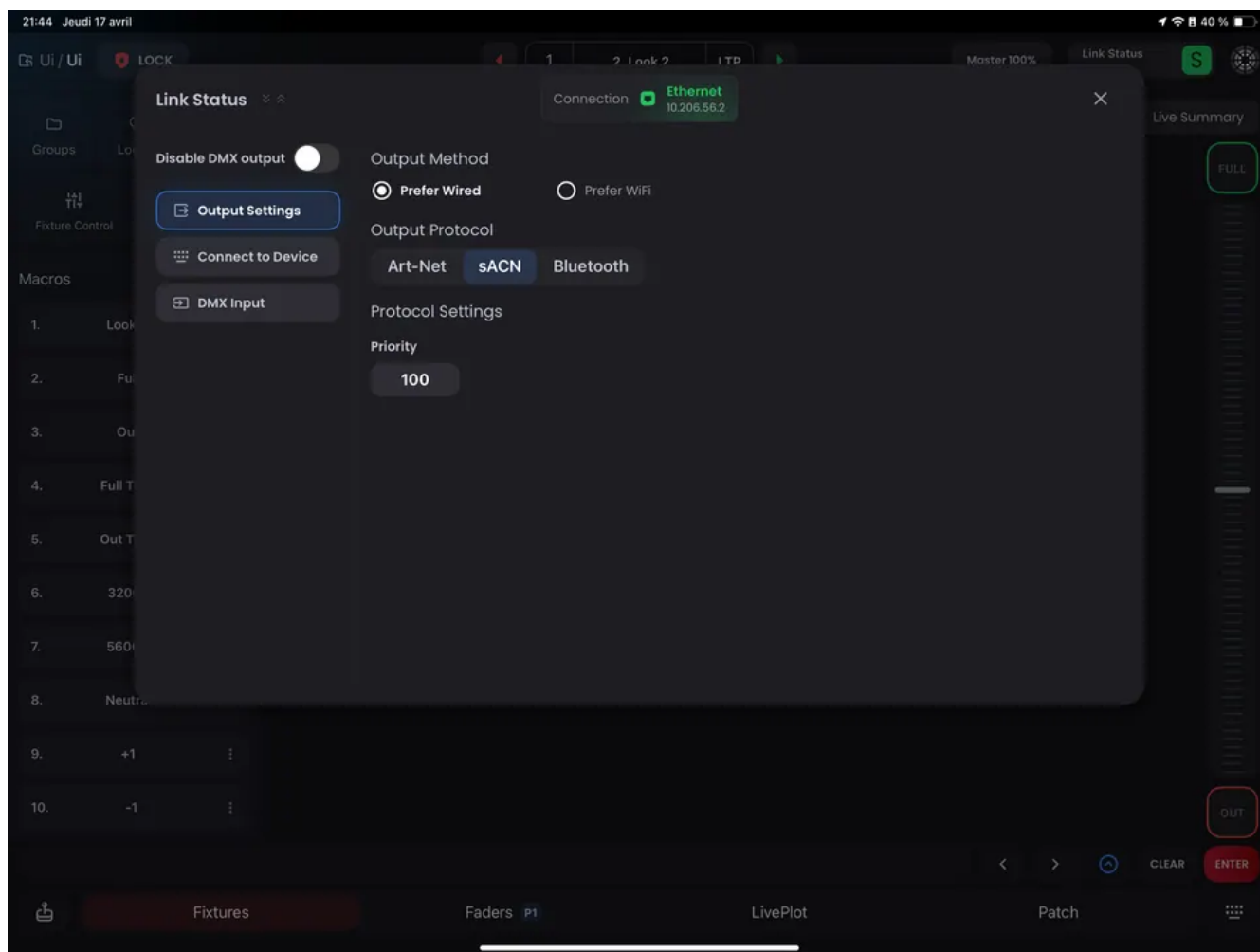
Blackoutライティングコンソール

1. Ceriseトランスミッターを接続し、Wi-Fiを無効にします（新しいリンクステータスタブを含む最新の2.3.6アップデートがない場合、この手順が必要です）。
2. デバイスのIPアドレスを取得します。詳細については、「iOSでIPアドレスを取得する方法」を参照するか、Ceriseの背面にあるステッカーを確認してください。

「設定」>「イーサネット」>に進み、デバイスをクリックして169.254.XX.1のようなトランスミッターIPをコピーします（XX.2で終わるIPしか表示されない場合は、それをコピーし、2を1に変更することを忘れないでください）。

設定は「自動」のままにし、静的IPアドレスを設定しようとししないでください。必要ありません。

1. Webブラウザを開きます。互換性のためにChromeの使用をお勧めします。
2. トランスミッターのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
3. USB IPを次の10.206.XX.1に変更し、保存してCeriseを再起動してから、WebUIを終了します。
4. Blackoutライティングコンソールを開きます。
5. プロジェクトに移動し、リンクステータス（右上）を確認します。
6. 次に、お好みのプロトコルを選択します。どれを選べばよいかわからない場合は、sACNを選択できます。
安定性を少し向上させたい場合は、Art-Netユニキャストに切り替えて、ステップ5で設定した新しいCerise IPアドレスを入力してください。



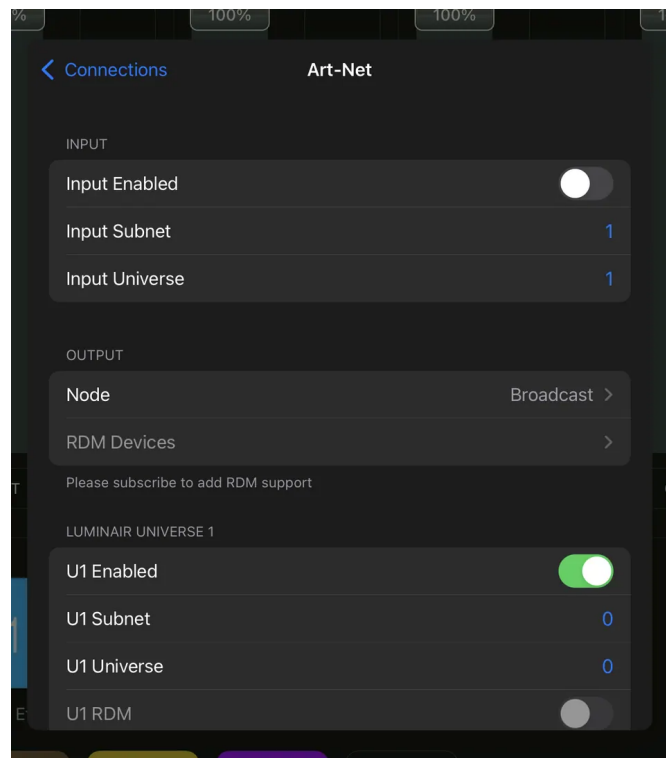
Luminairアプリ

1. Ceriseトランスミッターを接続し、Wi-Fiを無効にします（Luminairが正常に動作しないため、この手順が必要です）。
2. デバイスのIPアドレスを取得します。詳細については、「iOSでIPアドレスを取得する方法」を参照するか、Ceriseの背面にあるステッカーを確認してください。

「設定」>「イーサネット」>に進み、デバイスをクリックして169.254.XX.1のようなトランスミッターIPをコピーします（XX.2で終わるIPしか表示されない場合は、それをコピーし、2を1に変更することを忘れないでください）。

設定は「自動」のままにし、静的IPアドレスを設定しようとししないでください。必要ありません。

1. Webブラウザを開きます。互換性のためにChromeの使用をお勧めします。
2. トランスミッターのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
3. USB IPを次の10.206.XX.1に変更し、保存してCeriseを再起動してから、WebUIを終了します。
4. Luminairを開きます。
5. 「接続」>「Art-Net」に移動します。
6. U1 Enabledがチェックされ、UniverseとSubnetが両方とも0であることを確認してください。
7. ブロードキャストも有効になっていることを確認してください。安定性を少し向上させたい場合は、ブロードキャストを無効にしてArt-Netユニキャストに切り替え、ステップ5で設定した新しいCerise IPアドレスを入力してください。



トラブルシューティングの手順

Ceriseを接続しても何も表示されない

1. ブートLEDの色を確認してください。緑色は電源が入っているがUSBデータ/接続がないことを意味します（PoE電源を使用している場合は正常です）。シアンは電源とUSBデータの両方があることを意味します。
2. USBデータがない場合のトラブルシューティングは、通常はケーブルの不良が原因ですが、常にそうとは限りません。別の正常なUSBケーブルを試すか、付属のUSBスプリッターなしで試してください。USB-Cコネクタは両方向に差し込めるため、特定のケーブルは片方向では機能しても、もう片方向では機能しない場合があります。両方向を試す価値があります。
3. ケーブルが機能しているのにデータが取得できない場合は、iPad/コンピューターのUSBポートが機能しているか確認してください。これらは設定で無効になっている場合や、iPadがロック解除されていない場合があります（詳細については以下を参照）。
4. 問題が解決しない場合は、Ceriseを最新のファームウェアにアップデートしてみてください。これにより、破損している可能性のあるメモリ部分が上書きされます。

5. これらのいずれでも問題が解決しない場合は、サポートリクエストを送信してください。

Blackoutから何も出力されない。Ceriseは正しく検出され、ネットワークインターフェースとして表示され、WebUIにもアクセスできるが、Blackoutからデータが出力されない。

元記事：<https://help.center.blackout-app.com/servicedesk/customer/portal/3/article/20283396>

迅速な解決のために、以下の手順に従ってください。

1. リンクステータスを確認してください：

1. Blackoutで、「リンクステータス」ドロップダウンに移動します。赤色のインジケータは、Blackoutがハードウェアに接続されていないことを意味します。

2. ソフトウェアを更新してください：

1. デバイスがiOS 17.x以降で動作していることを確認してください。
2. Blackoutの最新リリースバージョンを使用していることを確認してください。

3. アカウントの確認：

1. 有効なアカウントにログインしており、アクティブなサブスクリプションがあることを確認してください。これは、右上のBlackoutロゴをタップすることで確認できます。

4. ネットワーク接続：

1. 照明ネットワークへの安定したアクティブな有線またはWi-Fi接続を確保してください。

5. IP設定：

1. iPadのIPアドレスが、ネットワーク、ゲートウェイ、またはノードの範囲と一致していることを確認してください。サポートが必要な場合は、私のビデオ「[5分以内でBlackoutのトラブルシューティング！](#)」を参照してください。

6. プロトコルの一致：

1. 正しい出力プロトコルを使用していることを確認してください。例えば、ゲートウェイがsACN用に設定されているのにArt-Netを送信している場合、この不一致が問題を引き起こします。

7. Art-Netの仕様：

1. Art-Netオフセット：Art-Netのナンバリングは0から始まります。BlackoutのオフセットがArt-Netノードの設定と一致していることを確認してください。例：

Art-Netナンバリング	実際のユニバース
0	1
1	2

Art-Netノードがユニバース1に設定されている場合、Blackoutのオフセットも1に設定する必要があります。

限定ブロードキャストArt-Netノード：

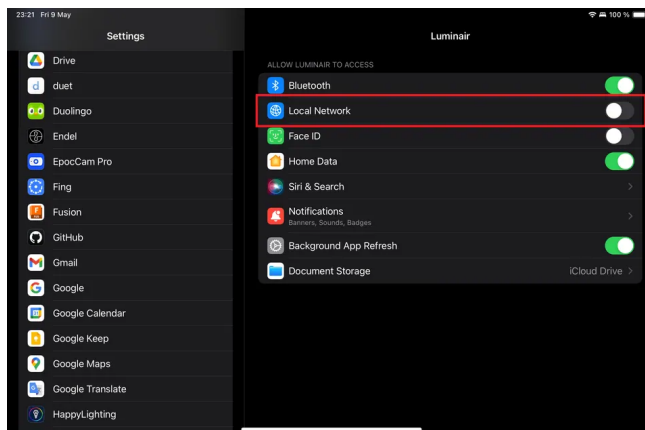
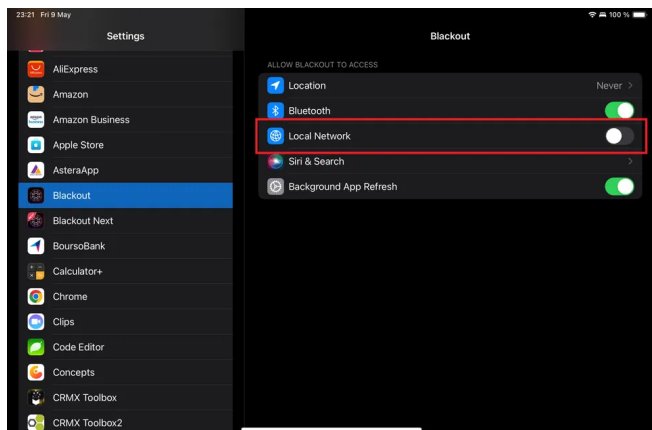
- 一部のArt-Netノードは、限定ブロードキャストArt-Net（IP 255.255.255.255へのArt-Netブロードキャスト）のみを受信するように設定されています。

限定ブロードキャストはクローズドネットワーク内で動作しますが、標準のArt-Net仕様とは異なるため、すべてのシナリオで理想的とは限らないことに注意することが重要です。

詳細情報：[キャスティング](#)

iOSアクセス設定：

- Blackoutをインストールすると、ローカルネットワーク上のデバイスへの接続許可を求めるポップアップが表示されます。このポップアップで「OK」をクリックしないと、Blackoutは出力できません。iOS設定から>Blackout（左サイドバーを下にスクロール）で「ローカルネットワーク」をオンにすることができます。参考動画：[5分以内でBlackoutのトラブルシューティング！](#)



シアンLED/USB/イーサネットリンクは点灯していますが、WebUIがウェブブラウザで読み込めません

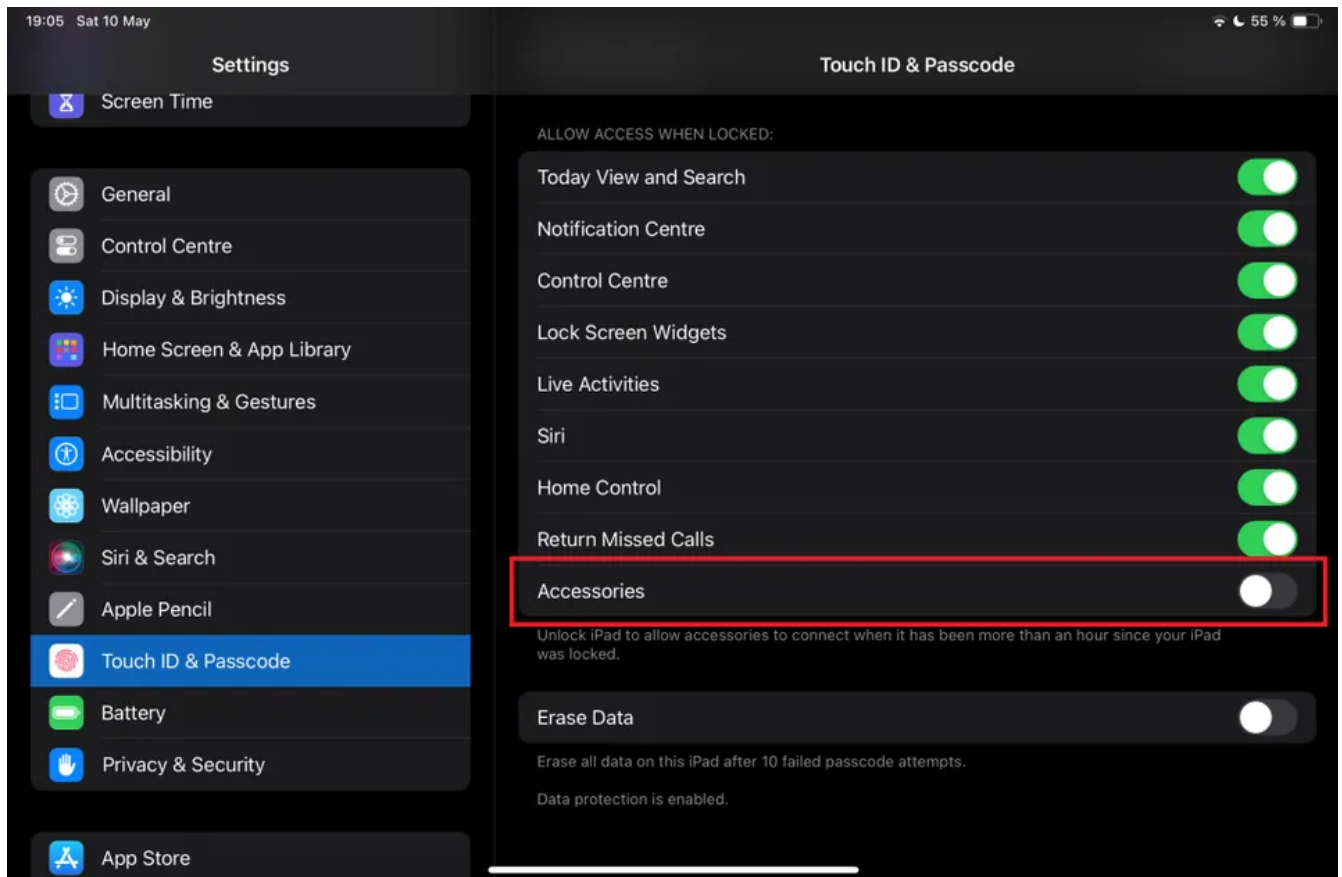
特定のウェブブラウザは特定のウェブページとの相性が良くなく、SafariとBraveは最も互換性が低いことがわかっています。テストの結果、Google Chromeが最も適しているようです。

iPadのバッテリーが100%に達すると、Ceriseが動作を停止したり不安定になったりします

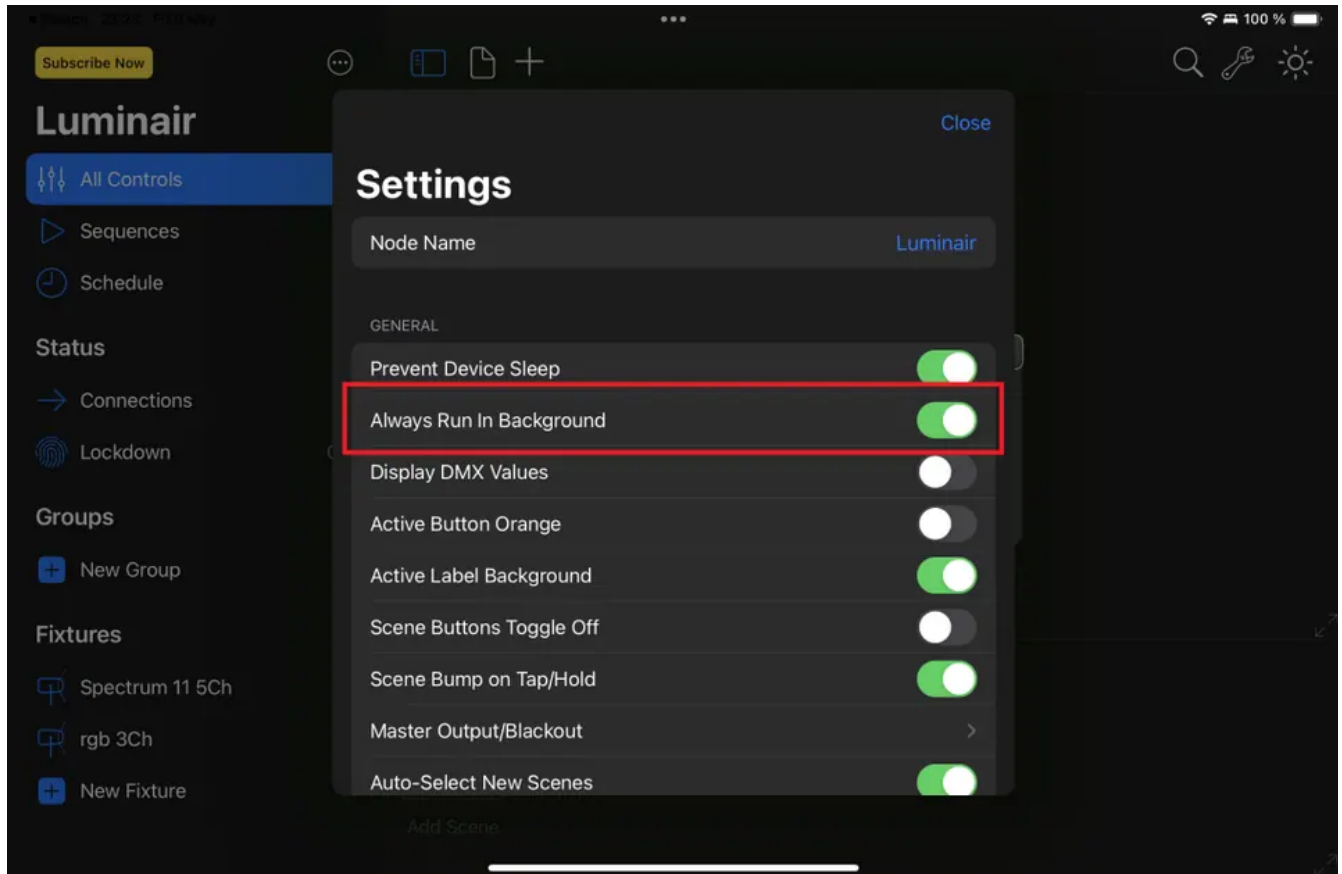
これは、USB PD FRS（Fast Role Swap）に対応していないハブ/スプリッターを使用していることが原因である可能性が高いです。iPadが完全に充電され、電力の消費から供給に切り替わる際に、スプリッターが適切にモードを切り替えられず、再起動が必要になります。プラグの抜き差しで問題は解決するはずですが、iPadが完全に充電されている場合は、スプリッターを使用しないことをお勧めします。

iPadがスリープ状態になるとデータ通信が失われる、またはiPadがロックされている状態でCeriseを接続しても何も反応がありません。

有効にすることをお勧めするAppleの設定があります。



または、アプリのバックグラウンド動作が有効になっていることを確認してください。



よくある質問

Lightningコネクタ搭載のiPadでCeriseは使用できますか？

理論的には可能ですが、古いiPadの中には診断が困難な問題が発生する傾向があり、現場での使用はお勧めできません。

自己責任で試す場合は、Apple Lightningカメラアダプターが必要です：

<https://www.apple.com/shop/product/MK0W2AM/A/lightning-to-usb-3-camera-adapter>

Ceriseはどのデバイスで動作しますか？

これまでに以下のデバイスでテストと検証を行っています：

- Windows 10 & 11
- Intelプロセッサ搭載のApple Mac
- Linux
- Type-Cコネクタ搭載のiPad（iPad Mini、Pro、第10世代）およびLightningコネクタ搭載モデル

以下では動作しません：

- Samsungスマートフォン

iPadでCeriseを検出できません

最初に確認すべきは、BOOT/Update LEDがシアン色であることです。緑色の場合、CeriseとiPad間のUSB接続が確立されていないことを意味します。

これには様々な原因が考えられます：

- USBケーブルの不具合（USB 2.0通信と電力供給の両方に対応したケーブルを使用してください）
- 一部のドック/ドングルには充電器用のUSB Type-C入力コネクタがありますが、データ通信に対応していない場合があります。その場合は、Type-AからType-Cへのケーブルを使用してUSB-Aポートに接続することをお勧めします
- 一部のドック/ドングルには内蔵イーサネットカードがあり、Ceriseと競合する可能性があります

IPアドレスを変更しましたが、接続できなくなりました

まず、互換性のあるブラウザを使用していることを確認してください。SafariとFirefoxでは異常な動作が見られるため、Google Chromeの使用をお勧めします。

それでも接続できない場合は、コンピュータで試してください。それでも動作しない場合は、工場出荷時設定にリセットしてください。

CeriseでCRMX Toolboxを使用できますか？

はい、ただしBluetoothはデフォルトで無効になっているため、有効にする必要があります。

有効にするには、リンクボタンを次の順序で押してください：短押し1回、すぐに長押し1回（3秒間）。

CRMX ToolboxにBluetoothデバイスが表示されるはずです。

表示されない場合は、もう一度同じ操作を行ってください。

設定を変更したら、リンクされた機器がランダムに点滅する可能性があるため、必ずBluetoothを無効にしてください。

無効にするには、有効化と同じボタン操作を繰り返してください。

CeriseにCRMX Linking Keyがありません

リンクキーはWebUIのリンク/アンリンクボタンの横からアクセスできます。

ボタンが表示されない場合は、Cerise内部のCRMX TimoTwoモジュールをアップデートする必要がある可能性があります。

そのためにはBluetoothを有効にしてCRMX Toolboxで接続してください。アプリのデバイスセクションに、アップデートのオプションが表示されるはずです。

💡 ユニバースごとにTimoTwoが1つあるため、複数回のアップデートが必要な場合があることにご注意ください。

FCC注意事項

本機器はFCC規則パート15に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従います：(1)本機器は有害な干渉を引き起こさない、(2)本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

コンプライアンスに責任を持つ当事者によって明示的に承認されていない変更や改造を行うと、ユーザーの機器操作権限が無効になる可能性があります。

注意：本機器はテストの結果、FCC規則パート15に基づくクラスBデジタル機器の制限に適合していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置状況で干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源をオン/オフすることで判断可能）、ユーザーは以下の1つまたは複数の対策を講じることが推奨されます：-受信アンテナの向きや位置を変える。-機器と受信機との距離を広げる。-受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに機器を接続する。-販売店または経験豊富なラジオ/TV技術者に相談する。

本機器は、管理されていない環境に対して設定されたFCC放射線被曝制限に準拠しています。本機器は、放射体とユーザーの身体との間に最低20cmの距離を確保して設置・操作する必要があります。